

ISSN 0912-182X

福井県環境センター年報

第 20 卷
1 9 9 0

Annual Report
of
The Environmental Research Center
of Fukui Prefecture
vol. 20
1990

福井県環境センター

より質の高い環境の創造

福井県環境センター年報第20巻を発行しました。

当センターは、平成2年10月に、創立20周年を迎えましたが、ここに至るまで、本県の環境行政を、科学的・技術的分野から支える調査研究機関として、生活環境を守り、“より快適で住みよい環境づくり”を推進するため、常時監視、試験検査、調査研究に地道に着実に取り組み、環境汚染の未然防止に努めてまいりました。

本県の環境の状況は、県民および事業者の理解と協力のもとに、大気・水質関係とも、環境基準はおおむね達成しており、総合的に良好な環境が維持されております。

当センターにおきましては、本年5月、近年における都市・生活型、先端技術産業型公害、さらには地球環境問題など、複雑多様でかつ新しい環境問題に対応するため、公害センターから環境センターに、名称を変更するとともに、身近な生活型公害を処理する生活環境課を設置するなど、組織の拡充を行いました。

また主要事業として、公共用水域調査や地下水汚染・湖沼の富栄養化対策、酸性雨調査などに鋭意取り組むとともに、大気汚染監視テレメータシステム高度化事業の実施や大気環境測定車「みどり号」の更新、さらには環境情報、環境教育を推進するための環境情報コーナーの設置など、ハード・ソフト両面にわたる事業の推進に努めてまいりました。

本年報は、平成2年度の活動状況と調査研究の成果を掲載したのですが、ご高覧いただきご指導、ご助言を賜りますれば幸いに存じます。

環境問題が複雑多様化し、地球的な広がりの中で、所員一同その重要性を認識し、いっそう研鑽に励み、環境汚染の未然防止に努め、県民の健康の保護と、大気・水・土壌などのかけがえのない自然資源の適正な保全、“より質の高い環境の創造”という使命達成に、懸命の努力を傾注してまいり所存であります。

なにとぞ当センターに対するいっそうのご理解と、ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成3年11月

福井県環境センター

所長 高 佐 和 弘

目 次

1. 運 営 概 要

1	沿 革	1
2	機 構	1
3	業 務 内 容	2
4	人 員	3
5	業 務 分 担	3
6	人 事 記 録	4
7	事業実施概要	4
(1)	公害センター創立20周年記念行事	4
(2)	研修関係	5
(3)	公害技術会議	6
(4)	研究発表会	6
(5)	大気汚染防止対策関係事業	6
1)	大気汚染常時監視観測局における測定	6
2)	ローボリウムエアサンプラーによる浮遊粒子状物質の測定	8
3)	大気汚染測定車「みどり号」による調査	8
4)	二酸化鉛法による硫黄酸化物濃度調査	14
5)	TGSろ紙法による窒素酸化物（二酸化窒素）濃度調査	14
6)	降下ばいじん調査	14
7)	酸性雨実態調査	14
8)	敦賀地区、植物環境調査	16
9)	煙道排ガス調査	16
10)	燃料油中の硫黄分調査	16
11)	アスベスト調査	17
(6)	水質汚濁防止対策関係事業	18
1)	公共用水域監視調査	18
2)	事業所排水監視調査	20
3)	湖沼水質暫基準調査	22
4)	ゴルフ場における農薬汚染調査	22
5)	地下水質監視調査	22
6)	化学物質環境汚染実態調査	22
(7)	騒音、振動、悪臭防止対策関係事業	22
1)	騒音・振動調査	22
2)	悪臭物質調査	23
8	誌上および学会発表抄録	24
9	環境センターの主な業務の変遷	26

2. 運 営 資 料

1	大気汚染常時監視調査関係資料	29
---	----------------------	----

2	大気汚染調査関係資料	49
3	水質汚濁調査関係資料	65

3. 調査研究報告

1	光化学スモッグ注意報発令時の高濃度出現要因について	77
	—— 平成2年6月19日の事例 ——	
2	福井県における酸性雨と生態系の実態について（第1報）	90
3	酸性雨の土壌におよぼす影響の評価方法について	102
4	固体燃料中の硫黄分分析に関する研究について（第1報）	107
	—— 石炭中硫黄分分析の研究 ——	
5	スギ葉中成分についての二、三の考察	111
6	農薬の分析方法について（第2報）	123
7	福井県における地下水質と低沸点有機塩素化合物調査（第2報）	128
	—— 大野市におけるテトラクロロエチレン汚染について ——	
8	三方湖鱒川河口部の底質について	134
9	三方五湖の富栄養化に関する研究（第11報）	140
	—— 水月湖における二、三の理化学的特性について ——	
10	降雨時汚濁負荷量の調査研究について	148
	—— タンクモデルでの年間雨量の取り扱い方法の検討 ——	
11	平成2年度（1990）の龍ヶ鼻ダムの水質	155
12	AGPによる北潟湖の富栄養化調査	159

ノ ー ト

1	水質データの電算処理について	166
2	観測局テレメータ装置のインテリジェント化	171
3	土壌の置換性塩基の原子吸光分析における共存、元素の影響について	176
4	龍ヶ鼻ダムの植物プランクトンについて	179
5	降雨時汚濁負荷量の調査研究について	181
	—— 鱒川等調査結果 ——	